

発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 安藤武典  
 編集人 中平等新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 9月24日 第2回県民登山教室 (豊川・本宮山) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

宮路山(五井山)清掃奉仕活動!



平成28年度指導員総会開く

事業計画や指導員の把握

平成28年度指導員総会が、6月28日(火)愛知県スポーツ会館で午後7時30分から開かれました。

まず木田光彦指導委員長の挨拶で始められ、以下の議題が審議されました。

- 1. 平成27年度事業報告
- 2. 5月19日勉強会(確保技術講習会について) 県スポ、5月26日(同)羽根井地区市民館
- 3. 6月13(14)日全国指導員総会(東京)
- 4. 6月20日岳連指導員総会(県スポ)
- 5. 6月20日確保技術講習会(確保の基礎・検定) 鞍ヶ池
- 6. 9月30日勉強会(介助懸垂) 県スポ、10月8日(同)羽根井地区市民館
- 7. 11月15日読図講習会(コンパスの使い方) 大高緑地公園
- 8. 1月12日指導員集会(中間報告) 羽根井市民館、1月19日(同)県スポ
- 9. 2月9日勉強会(スタンディングアックスビレイ) 県スポ、2月18日(同)羽根井
- 10. 2月25日専門基礎理論検定(筆記試験) 県スポ
- 11. 2月27(28)日雪山技術講習

- 1. 会(雪山の基礎) 大日ヶ岳
- 2. 平成27年度会計報告 各事業の講師手当及び交通費、参加費などの決算報告
- 3. 平成28年度事業計画
- 4. 5月17日第1回登山勉強会(県スポ) 5月24日(豊橋)
- 5. 6月18日指導員研修(南山)
- 6. 6月25(26)日確保技術研修講習会(鞍ヶ池公園)
- 7. 6月28日指導員総会(県スポ)
- 8. 9月20日第2回登山勉強会(豊橋) 10月12日(県スポ)
- 9. 11月13日読図講習会(大高緑地)
- 10. 1月17日指導員集会(県スポ) 1月31日(豊橋)
- 11. 2月7日第3回登山勉強会(豊橋) 2月14日(県スポ)
- 12. 2月25(26)日冬山技術講習会(場所未定)
- 13. 4. 指導員の登録状況
- 14. 5. 全国指導員総会報告
- 15. 6. その他

その他事項として、名誉指導員について協議され、一部規約を改正して了承され、また「山の日」制定を記念したイベントの計画、更に最近天然記念物の岩に、ハーケンが打ち込まれている問題についても話し合われた。

## 猿投山で県民登山教室(読図)

## 読図を学んで安心登山!

講師・指導員 河合芳尚

5月14日(日)愛知県山岳連盟主催の「愛知県民登山教室」実践教室1(読図)が豊田市の猿投山で実施され、講師として参加しました。

岳連の岩瀬副理事長が運営を担当され、一般からの参加者は5名であった。地図は約9000分の1の拡大したものを使用、やはり講習会はこれくらい拡大しないとやりにくい。今回新たに取り入れた講習内容は、スマホに地図アプリの「ジオグラフィカ」をインストールして、スマホを現在位置確認に使用した。私の考えは「道を間違わないためには、何でも使えばいいじゃん」という考え方である。

9時から挨拶と準備運動を行い、いつもの「コンパスの使い方練習シート」を使用しコンパスの使い方を説明する。次に、地図を見ながら林道を歩き、特徴物の説明をおこなった。

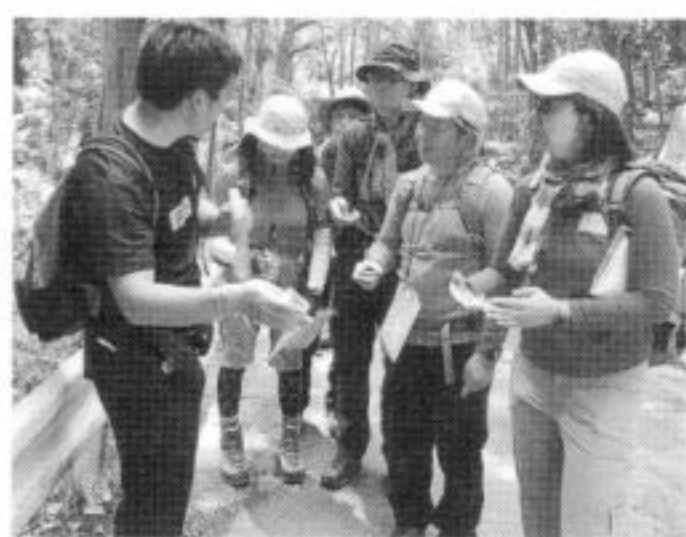
最初の1番からトップを交代し、次の番号まで行ってトップが止まることにした。地



図読みは「予測」が大事で、この「予測」を体に染み込ませることが大切である。林道を歩いているので現在位置確認は容易であるが、地図マニアは林道を隣接して流れている川が右を流れたり、左に流れたり、少し離れたりしている実際の地形と国土地理院の地形図の精度の高さを熱く語り始める。

下り道(道が無い尾根)で役立つてくるのだ。7番から8番の間で等高線の広い間隔と狭い間隔が傾斜の急や平を表現していることを説明する。9番と10番の間の340標高点から南に派生している尾根の等高線に注目し、柔らかく膨らんでいるところに隠れピークが発生し、隠れコルもあることが多い。10番もかなりマニアな場所で、等高線の曲がりを実際の地形ではやわらかい沢になっていることを説明。そして大事なことは10番の手前は尾根が細いが10番の辺ですこし太くなっていることを説明。単に「尾根」ではなく「細い尾根」「太い尾根」という形容詞が大切になってくる。10番辺りから予測を声に出すことを受講生に求めた。今まではコンパスの使い方、地形の見方、等高線の表現方に重点を置いていたが、当初の目的の「予測」を体に染み込ませることを声に出すことで、再度「予測」の大切さを認識してもらった。

11番から14番までは、コンパスを使用したり、地形の特徴物を説明した。14番にはトイレがある。ここで12時近くになったのでお昼にした。頂上まではいけないが、あくまで読図講習会なので、これくらいの距離が丁度いい。下りは武田道を下ることにした。この下りの尾根も等高線が微妙に曲がっている。この等高線の曲がりによって、隠れピークや小さな沢が形成されている。細かく一つ一つ説明していく。受講生の皆さんも今日一日で等高線の表現力のすばらしさや国土地理院の地形図作製について理解されたことと思う。



林道から1cm南にある細長い小ピークまで歩測した。受講生の方には、朝一番でコンパスの使い方、中盤は地形の特徴物の見方、予測の仕方、下りで距離感を養うのが目的だった。尾根と尾根が交わったところには小ピークができやすいことも学んでいった。

いよいよ蝶の形をした尾根からコンパスを頼りに道のないう尾根を下る。受講生の方に「コンパスをセットしてください」というと、進行方向をコンパスで定めている。そして、コンパスを頼りに下ると道に迷わない安心感さえ受講生には芽生えているように感じた。

今回の講習会は、距離もよかったですし、時間もよかったです。スマホのアプリ「ジオグラフィカ」も現在位置確認には役立つことが分かった。もっと多くの方に使用することを呼び掛けていきたいと感じた。

## 登山教室に参加して

デンソー山岳部

吉田 有希

私は、デンソー山岳部に入部して5年になります。地図を「見る」ことはできません。「読む」ことはできません。した。コンパスの使い方は、恥ずかしながら理解しては忘れる、理解しては忘れるの繰り返しでした。今までは、コンパスはいつもザックの中に入れておき、時折出して方向を確認する程度でした。しかし、今回の登山教室に参加させていただき、読図の

面白さ・愉しさ・奥深さを知りました。講習内容は、コンパスの使い方から始まり、整置・予測歩行・歩測・隠れ小ピークの探し方などに加え、地形図に込められた国土地理院職員の想いなどを教えて頂きました。

今まで読図については、独学であったためか、なかなか腑に落ちることがなかったのですが、わかりやすく丁寧に、そして熱く語られる河合

講師のお話には、知らず知らずのうちに引き込まれていきました。地図を読むことができればよいとなると、もったもつと山は面白くなると気がついたのです。読図で大切なのは①予測②行動③確認であること。そして、行動で大切なことは①体力②冷静さ③技術だということ学びました。これからは、この言葉を胸に刻み、地図とコンパスと仲良くなろうと思います。

## 宮路山と五井山で清掃登山

多くのゴミを收拾する

愛知岳連自然保護委員会主催の清掃登山が、5月29日(日)三河の宮路山と五井山で実施されました。

朝9時に名鉄名電赤坂駅前岳連会員34名が集合し、別に分かれて出発する。予定通り宮路山に11時頃に到着。あいにく霞がかかり三河湾がかすんで見える。

小休止の後、五井山へと向かう。登山道はアップダウンを繰り返すが、途中、サンコウチョウの囀りと姿を見ることができた。他にはホトトギス、キビタキ、オオルリなどの夏鳥の囀りを聞き、ゴミを

拾いながら歩く。また、五井山頂直下では、アサギマダラを見ることができた。

五井山頂上で昼食にし、全員で記念写真を撮る。下山は石山神社へ目指して下るが、途中の林道付近に多くのゴミが捨てられており、参加者はゴミの收拾に努めた。

石山神社に着くとゴミを振り分けし挨拶の後、解散式を行った。

来年度は、各山岳会より多くの参加者を募って実施したいと考えていますので、ご協力ください。  
(鈴木行薫)

## 印象に残った私の登山

8

### 風雪の木曾駒ヶ岳

やまびこ山想会  
福島 恵子

入会間もない私達2人は、冬合宿にも参加できずにいるのを見兼ねて、会長が本格的な3千米級の雪山を計画してくださった。

平成16年12月30日、しらび平からロープウェイで千畳敷、浄土乗越を経て宝剣山荘前でテントを張り、翌日、木曾駒ヶ岳を登頂し下山する予定でした。

千畳敷に着くと積雪60cmで風は余り強くはなかった。ただ寒波が近づいているらしい。山荘前に着くとテン場には先客があり、テント2張りがあった。私達もスペースを見つけ4人用のスペースを張った。この頃からいよいよ雪と風が強まり、楽しい酒盛りのはずが、余りの寒さとトイレの事が心配でそうそうに就寝した。すると自分の息がキラキラと結晶になり綺麗だった事を覚えている。テントに内張りをして3人寄り添って寝るが、強風でテントが歪み寝ている自分の額に内張り当たり、このままテントごと飛ばされるのではないかと、恐怖でなかなか眠れなかった。

翌朝、目が覚めるとテントがガチガチに凍り、雪が積り風雪もおさまる様子がない。止むなく今日の登頂を諦め、軽めに朝食し飛ばされそうなテントをなんとか撤収して下山することに。

20分程で浄土乗越を下り出した頃、風と雪が降りしきる中、金属が擦れ合うような不気味な音が響きわたり、ホワイトアウトで視界がない状態に会長は新人2人を連れ、これ以上進むのは無理と判断され宝剣山荘へ引き返した。


その日は山荘で一泊する事にし暖をとっていると、突然山荘の扉が開き中年男性と小屋のアルバイト青年がなだれ込むように入ってきた。男性は全身雪まみれで恐怖に怯えブルブル震えている。どうやら登る途中で雪崩に遭い押し流されたらしい。後の青年に助けてもらい、やっとの思いで小屋に辿り着いたと言う。あの時、私達も行動していたらきつと雪崩に遭遇していたかもしれないと思うと、本当にぞつとします。

この山行で、自然の怖さ、判断の大切さを学ぶ貴重な体験ができた事は、それ以後の山に向き合う貴い教訓となっております。会長に感謝しております。

安心して選べる三河地区  
のプロショップ  
JR刈谷駅前  
**穂高**  
〒448 刈谷市桜町1-13  
TEL0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

ピギナーからエキスパートまで



CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

**モンタニア**

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地  
☎0532-26-3737  
<http://climbing-park.com>

MONTANA  
**モンタニア**

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>